

授業科目名 <英訳>	朝鮮・韓国学入門 Introduction to Korean Studies			担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 吉井 秀夫 法学研究科 准教授 南 京兌 人文科学研究所 助教 小野 容照		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講年度・ 開講期	2017・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]							
朝鮮半島の文化や歴史への関心を深めるために、担当教員がそれぞれの専門分野においてトピックとなるテーマを選んで講義をおこなう。朝鮮・韓国に関する教養的な知識だけでなく、その文化・歴史に対する見方を考え直すきっかけとなるようにしたい。							
[到達目標]							
具体的な研究テーマ・トピックを通して、朝鮮・韓国の文化・歴史に対する基礎知識を身につけると共に、諸問題についての理解を深める。							
[授業計画と内容]							
3人の担当教員が、テーマごとにそれぞれ2～4回の授業を行なう。							
1 ガイダンス(吉井) 2 朝鮮半島の地理・気候・歴史(吉井) 3～5 古代における朝鮮と日本(吉井) 6～7 韓国併合と三・一独立運動(小野) 8～9 植民地支配とスポーツ(小野) 10～11 植民地支配と朝鮮・日本の考古学(吉井) 12～14 韓国の選挙と政党政治；韓国の行政と地方自治(南京兌)							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点及び達成度]							
平常点(出席状況および毎回課する小レポート)、および定期試験(筆記)で評価する。定期試験(筆記)では自筆ノート、配布資料のみ持込を認める。詳細は講義中に説明する。							
[教科書]							
使用しない							
[参考書等]							
(参考書) 授業中に紹介する							
[授業外学習(予習・復習)等]							
本講義は、2～4回ごとにテーマが変わる。テーマごとに興味をもった点について、各自さらに理解を深めていただきたい。							
[その他(オフィスアワー等)]							
講義の進め方など全般的な注意点について説明するため、受講希望者は第1回目のガイダンスに必ず出席すること。							